



Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人日本環境協会

ニュースレター No.25 2002年2月1日発行



「こども環境キャラバン」が開催されました

11月19日から3日間、大阪府八尾市内の3つの小学校で、高学年を対象とした環境キャラバンを開催しました。環境カウンセラーでもある当協会「こども環境相談室」の相談員が中心となって、エコマーク事業や認定商品、また大阪ガス(株)の協力による天然ガス自動車などを紹介するとともに、環境問題に関する相談なども受けました。

JEA NEWS No.25 目次

| | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------------------|-----|
| エコマーク情報 | 2 | エコマークの普及啓発活動報告 | 4 |
| 相互認証について | 2 | グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向 | 4・5 |
| エコマーク商品の認定基準について | 2 | 「こどもエコクラブ」事業の広がりについて | 6 |
| エコマーク商品紹介リーフレット「発見! あなたの身近にエコマーク」 | 2 | 環境カウンセラー情報 | 7 |
| 「エコマーク商品カタログ2002年版」の刊行について | 2 | 全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCEA)の活動紹介 | 7 |
| グリーンステーションCD-ROMを1万件、無償配布 | 3 | こども環境相談室 | 7 |
| エコマーク認定商品数の推移 | 3 | 全国星空継続観察について | 8 |
| アスкул株式会社によるエコマークの不正使用および不正表示について | 3 | 「こども葉っぱ判定士」認定証の発行と壁新聞優秀作品表彰について | 8 |
| 世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向 | 3 | | |

相互認証について

海外エコラベル諸機関との「認証手続きに関する相互認証」の交渉を開始することになりました。

商品認定手続きの相互認証とは「商品認定申込の受

付および審査、または実地調査を代行する業務」をエコマークと相手国機関が相互に行うことを意味します。

エコマーク商品の認定基準について

- ノルディックスワンとの間の「コピー機」に関する部分相互認証の実施に伴い、エコマーク商品類型No.117「複写機」の当該基準項目を改定し、「共通認定基準」への対応を図っていくことになり、現在改定案を公開しています。
- エコマーク新商品類型認定基準公開案「再生材料を使用した建築用製品」を公開しています。同時に、**本認定基準の制定時には既存商品類型No.23「建築用断熱（保温）材」、No.27「わら床たたみ」、No.40「再生パルプを使用した壁紙・建具用紙」No.57「鉄鋼スラグを使用したロック**

ウール化粧吸音板」、No.58「再生パルプを使用した積層ファイバーボード」が廃止されます。

- 商品類型No.116「節水型機器」、No.120「紙製の印刷物」認定基準が一部改定されました。
- 商品類型No.29「防音防振マット」、No.31「詰め替え使用品のための容器」、No.55「省資源型の食用油容器」の下段の表示を4月1日付で改定します。

上記の認定基準の内容および意見の受付(2月18日(月)まで)についてはホームページなどをご覧ください。

エコマーク商品紹介リーフレット「発見! あなたの身近にエコマーク」

一般消費者への普及をめざし、エコマーク商品の背景にある環境問題や環境保全上の効果などの情報提供を行い、エコマーク商品への理解を広げることを目的としたシリーズリーフレット「発見! あなたの身近にエコマーク」を作成しました。いずれもA4サイズ、両面、カラー仕様です。

- ・「ペットボトルのリサイクル製品」
- ・「古紙のリサイクル製品～文具・事務用品～」
- ・「パーソナルコンピュータ」

今後、他の商品類型にもシリーズを広げていく予定です。ご希望の方は、エコマーク事務局までご連絡ください。



「エコマーク商品カタログ2002年版」の刊行について

2000年版、2001年版に続き、「エコマーク商品カタログ2002年版」が当協会監修のもと、チクマ秀版社より刊行されました。このカタログは、各方面でグリーン購入の資料として活用されています。カタログの詳しい内容については、下記にご連絡ください。

(カタログ問い合わせ先)

株式会社 チクマ秀版社「エコマーク商品カタログ」担当 杉浦、斉藤
〒174-0054 東京都板橋区宮本町30-1
TEL:03-3965-1411 FAX:03-3969-4511

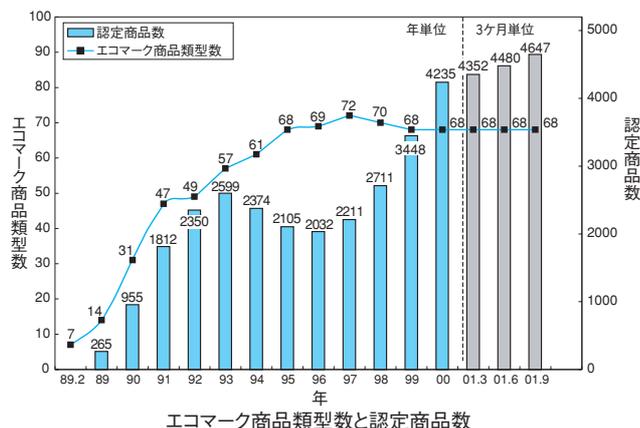


グリーンステーションCD-ROMを1万件、無償配布

エコマーク商品専門インターネットサイト「グリーンステーション (<http://www.greenstation.net>)」の掲載商品情報のCD-ROMを全国の国・自治体の購買窓口など約1万箇所に無償配布しました。また、昨年12月に開催され

たエコプロダクツ2001でも日経BP社の「エコプロダクツガイド2002」のとしこみ付録として、広く配布されました。ご希望の方はエコマーク事務局までご連絡ください。

エコマーク認定商品数の推移



2001年9月30日現在、エコマーク認定商品数は、4,647商品で、3ヶ月前に比べ167商品、前年同月日比では566商品の増加となっています。再生PET樹脂を使用した製品や精密事務機器など、商品類型100番代の新しい基準への申込みが増加しています。

アスクル株式会社によるエコマークの不正使用および不正表示について

当協会は、アスクル株式会社のカタログにおけるエコマーク商品およびエコマーク表示等に関する不正行為に関して、2001年2月22日付けで文書による警告、同年10月4日に不正競争防止法、商標法に基づき、①カタログ発行、配布の中止、②未配布のカタログの廃棄、③発行済みカタログの回収、を求める申し入れを行いました。これに対し、11月7日付けで、同社より「お詫び」の文書を受け取りました。当協会としては、文書記載の今後の措置が履行されることを前提として、これを了承することとしました。今後とも、環境ラベルの持つ社会的役割を踏まえ、事業者などによる適正な「エコマーク」の表示について、一層の厳正な対応を図ってまいります。なお、詳しくはホームページに不正使用などの経緯や、アスクル社からの「お詫び」の文書などの資料を公開しています。

世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向

●2001年 年次総会

10月12日～13日、ノルウェーのオスロで2001年GEN年次総会が開催されました。会員間の協同作業について、対外的な普及活動や広報、準会員などについて、GENの将来の役割についてなどが話し合われました。

また、当協会の田口整司が再選され、引き続き1年間役員を務めることとなりました。

●共通コア基準制定

年次総会にて「コピー機」の共通コア基準が制定されました。この基準は7つの項目を「コア」の共通基準として約2年間の議論を経た上で決定したものです。GEN

会員がそれぞれのパソコン基準に採用することが奨励されます。ホームページでご覧になれます。

●2000年GEN年次報告書

2000年のGEN年次報告書ができました。この内容はホームページでもご覧になることができますが、ご希望の方はGEN総務事務局までご連絡ください。

GEN総務事務局

TEL : 03-3508-2662

FAX : 03-3508-2656

E-mail : dc3h-mzn@asahi-net.or.jp

ホームページ : <http://www.gen.gr.jp>

エコマークの普及啓発活動報告

● 「エコマーク商品展示会」開催

10月13日～14日の2日間、イトーヨーカドー横浜別所店において、神奈川県主催の「環境にやさしい買い物キャンペーン」に㈱イトーヨーカドーと当協会が共催し、「エコマーク商品展示会」を開催しました。600名以上の方がクイズに参加されるなど、たくさんの方にエコマーク商品に触れていただく機会となりました。



● 「こども環境キャラバン」実施

11月19日～21日の3日間、「エコマーク事業」、「こども環境相談室」、「天然ガス自動車」を柱とした「こども環境キャラバン」を編成し、大阪府八尾市の小学校3校を訪

問しました。各校の協力を得て授業時間、放課後の時間を利用して実施しました。ほとんどのこども達はエコマークをすでに知っており、今後の成長が楽しみです。NHK（大阪：11月19日昼のニュース）や産経新聞（大阪：11月20日）でも紹介され、環境教育活動としてのエコマーク普及の機会となりました。（詳細は7ページを参照）

● 「エコマークシンポジウム(西日本地区)」開催

12月7日、大阪のATCエコプラザにおいて、「エコマークシンポジウム（西日本地区）」を開催しました。消費者へのエコマーク普及の課題や方向性を整理する契機となりました。

● イベント出展実績

- ・「平成13年度とくしま環境県民のつどい～クリーン&グリーンフェア～」2001年10月6日～7日、アスティとくしま（徳島県徳島市）
- ・「環境フェスタ2001」10月20日、深谷市総合体育館ビッグタートル（埼玉県）
- ・「びわこ環境ビジネスメッセ」11月14日～17日、文化産業交流会館（滋賀県米原市）
- ・「エコプロダクツ2001」12月13日～15日、東京ビッグサイト、主催者コーナーでの出展

グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向

● 店舗の環境情報サイト「エコどこナビ」事業がスタート

グリーン購入ネットワーク（GPN）は、2001年12月より、グリーンコンシューマー全国ネットワークと共同で企画し、株式会社エヌ・ティ・ティ エックス（NTT-X）の地域ポータルサイト「まちgoo」と提携して、わが国初のお店環境情報サイト「エコどこナビ」事業をスタートしました。12月13日より、インターネットからお店の登



エコどこナビ登録サイト URL <http://machi.goo.ne.jp/eco/>

録（無料）受付を開始し、2月末にサイトをオープンする予定です。登録受付は、<http://machi.goo.ne.jp/eco/> から行うことができます。

消費者のグリーン購入・エコライフを支援

「エコどこナビ」は、買いたいと思うエコ商品がどこのお店で売っているのか、地域、商品ジャンル、店舗ジャンルで検索できるサイトです。これまでGPNには、エコ商品がどこで買えるのか知りたいという消費者のニーズが数多く寄せられてきました。本サイトはこれらの声に応じてオープンしたもので、グリーン購入の促進、グリーンコンシューマーの拡大、そしてエコライフの普及に大きく貢献するものと考えています。

エコ商品を取り扱う小売店を拡大・支援

「エコどこナビ」は、環境に配慮した製品やサービスを積極的に取り扱う小売店を増やしていくことも目的にしています。消費者のグリーン購入普及の大きなカギは、小売店が握っています。多くの店がエコ商品を取り扱い、積極的に増やして販売することにより、誰もが身近な店で気軽にエコ商品を買うことができるようになります。

各地の自治体とも協力して、エコ商品を取り扱うお店を増やし、消費者が買い物でお店を支援することで、グリーンなマーケットが拡大することを期待しています。

NTT-Xの地域ポータルサイト「まちgoo」と提携

「エコどこナビ」は、NTT-Xと提携し、同社が運営する地域ポータルサイト「まちgoo」のシステムと連携します。各店舗が「まちgoo」に情報を登録することにより、各店舗のエコ情報の提供を可能にしています。これにより、「まちgoo」で既に店舗情報を掲載している4万店舗は、エコ情報を追加登録するだけで自動的に「エコどこナビ」に登録されます。

エコ情報は「まちgoo」の店舗情報として登録されるため、「まちgoo」のサイト上でも各店舗のエコ情報を検索・閲覧できます。更に、「まちgoo」のiモードサイトでは、「エコショップ検索」を設置しエコ商品を取り扱う店舗の情報を提供する予定です。

【提供する情報・機能】

- お店で取り扱っているエコ商品ジャンルの紹介、検索機能(環境配慮ポイントによる検索も可能)
[ジャンル例]
文具、日用品、食品、台所用品、DIY用品、繊維製品、家具、家電製品、OA機、レストランのメニューなど
- お店のエコ活動の紹介(リサイクル活動、買い物バッグ持参運動、簡易包装など)
- お店のお勧め商品を写真入で紹介
- 地域エリアや店舗ジャンルによる検索機能(スーパー、コンビニ、レストラン等)



公開画面(イメージ)

【今後の予定】

- 2002年2月末のオープンまでが第1次登録期間です。
- 『エコどこ調査員』による登録促進、「まちgoo」の既存登録店にエコ情報の登録の呼びかけを行ないました。

また、NTT-Xが運営する環境ポータルサイト「環境goo」からも登録の促進を行います。

- 自治体や商工団体の協力も得て登録店舗を募ります。
- オープンまでに**1,500店舗以上の登録**を見込んでいきます。それ以降も継続的に登録を受け付け、1年後には、3,000店舗以上の登録を目指します。
- 全国の店舗が登録できますが、オープン当初は首都圏の4都県を重点地域に指定しています。その後、関西、東海などに重点地域を広げていきます。

★この事業は日興コーディアル証券(株)と日興アセットマネジメント(株)のご協力によりWWFジャパンに設立されました「WWF・日興グリーンインベスターズ基金」助成により行なわれています。

●グリーン購入の取り組みのポイント (グリーン購入取り組みガイドランス)をまとめる

歴代のグリーン購入大賞の入賞団体にご協力いただき、グリーン購入の取り組みのエッセンスをまとめたガイドランスを策定しました。特に組織におけるグリーン購入実践に役立てていただけるよう、一連の取り組みを、「方針を立てる」「体制をつくる」「商品を選ぶ」等のプロセス毎に分け、そのポイントを収めています。

GPN会員向けに配布する他、ホームページでも公開する予定です。詳しい内容をお知りになりたい方は、GPN事務局までお問合せください。

●「オフセット印刷サービス」発注ガイドライン制定

グリーン購入ネットワーク(GPN)では、12月に「オフセット印刷サービス」発注ガイドラインを制定しました。GPNとして14番目のガイドラインとなります。

このガイドラインは、**印刷サービスについてわが国ではじめて制定される発注者向けのガイドライン**であり、自治体をはじめとしてグリーン購入に取り組む多くの団体・企業における活用が期待されています。また、発注者と印刷事業者の環境情報のコミュニケーションツールとなるよう、具体的な考慮事項(48項目)をチェックリストとして提示しています。本ガイドラインをこれから普及することにより、数万社に上る**印刷関連事業者の環境への取組を促進することも大きな目的**にしています。

ガイドライン全文およびチェックリストについてはGPNホームページ(<http://www.gpn.jp/>)をご覧ください。

GPN事務局

TEL : 03-3406-5155

FAX : 03-3406-5190

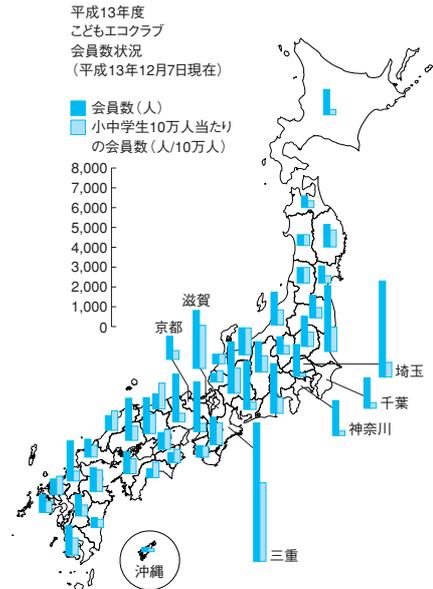
ホームページ : <http://www.gpn.jp/>

「こどもエコクラブ」事業の広がりについて

「こどもエコクラブ (Junior Eco-Club, JEC)」事業の目的は、地域環境・地球環境に関する、小・中学生の自主的な学習や取り組みを支援する事にあります。初年度 (平成7年度) の1862クラブ・28435人から、7年目の平成13年度には約4100クラブ・73000人 (12月現在) にまで成長し、各地で多彩な活動を展開しています。右図は都道府県別に表示した会員の分布で、小・中学生10万人当たりの会員数も示しました。

本事業は多くの方々に支えられています。(1) サポーター (各クラブに一人以上いる大人) は全国で約8000人を数え、各クラブの活動に直接関与していただいています。(2) 全国約850の市区町村の事務局には、会員登録・JECニュース等の資料配布をお願いしています。さらに、ニュースレターの作成・活動発表会等の各種行事の開催に独自に取り組む自治体が増えています。(3) 平成13年度からは、各クラブの活動をボランティアに支援いただく「こどもエコクラブ応援団」がスタートしました。(4) 企業団体には、平成8年度から「こどもエコクラブパートナーシッププログラム」として本事業への参加と協力を呼びかけています。今年度の取りまとめ状況を下表に示しました (11月現在)。詳細はこどもエコクラブのホームページでご覧いただけます (<http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/otona/program.html>)。

関係各位には、この場をかりてお礼申し上げますと同時に、今後も本事業への御支援御協力をよろしくお願いします。



平成13年度こどもエコクラブパートナーシッププログラムへの参加団体・企業一覧

全国展開での協力

| 協力団体 | プログラム名 | 実施時期 |
|--------------------------------|--|------------------------------|
| イオン1%クラブ | 日本と環太平洋・こどもエコ絵画交流展 | 2001年10月18日 ～2002年2月28日 |
| 株式会社NTT-X | こどもエコクラブ支援ホームページの運営 | 通年 |
| コクヨ株式会社 | エコまるのイラスト入りメモパッドの提供 | 2001年12月～2002年3月 |
| 株式会社三和銀行 | こどもエコクラブ活動の展示会場として支店のロビーを貸出 | 通年 |
| (財)サンワみどり基金 | 植物図鑑「野草の本」の提供と「木のミニ診断カルテとその解説書」の提供 | 通年 |
| イオン株式会社 | 「イオンこどもエコクラブ」の会員募集 | 通年 |
| 九州ジャスコ株式会社 | 「イオンエコエコお店探検隊」の募集と実施 | 2001年6月～10月 (終了) |
| マックスバリュ西日本(株) | イオングループのサポーターの研修会の実施 | 2001年7月～10月 (終了) |
| 株式会社西友 | 「西友エコ・ニコ学習会」プログラムの提供 こどもエコクラブのポスター掲示などの広報協力 | 通年 |
| 東京海上火災株式会社 | 環境ビデオ教材「海の森づくり」の提供 | 通年 |
| 東京ガス株式会社 | 環境エネルギー館 (横浜) におけるこどもエコクラブの広報・普及啓発 | 通年 |
| (財)日本環境衛生センター 酸性雨研究センター | 酸性雨に関するビデオ教材・冊子の提供 | 通年 |
| 日本生活協同組合連合会 | こどもエコクラブ全国フェスティバルへの協力 | 2002年3月23日～24日 |
| 日本テトラパック株式会社 | 牛乳紙パックリサイクル工作冊子などの子ども向け資料の提供 牛乳紙パックリサイクル作文・工作コンテスト2001の実施 | 通年 2001年10月1日～11月30日 (終了) |
| 株式会社農協観光 | こどもエコクラブ事業の広報協力 | 通年 |
| 株式会社毎日新聞社(主催) (株)NTT-ME(協賛) | 「がんばれ! こどもエコクラブ」第7回全国環境ポスターコンクールの実施 | 2001年6月～11月 (終了) |
| 株式会社毎日新聞社 | 紙面でのこどもエコクラブ活動の紹介、ならびにポスター掲示などの広報協力 | 通年 |
| 株式会社読売新聞社 | 第11回地球にやさしい作文・活動報告コンテストの実施 (団体活動報告部門) | 2001年6月1日～9月10日 (終了) |

地域を限定した協力

| 協力団体 | プログラム名 | 実施時期 |
|----------------|---|-----------------|
| NTT東日本 青森支店 | こどもエコクラブへの環境活動支援ツール (デジタルカメラなど) の提供 | 通年 |
| | みんなでつくろう! ふるさと桜前線 (桜開花一斉調査) の実施、結果の情報発信 | 2001年3月～5月 (終了) |
| NTT東日本 岩手支店 | NTTの設備 (パソコン顕微鏡など) を利用した環境教育への支援活動 | 通年 |
| | みんなでつくろう! ふるさと桜前線 (桜開花一斉調査) の実施、結果の情報発信 | 2001年3月～5月 (終了) |
| 社団法人岡山東法人会 | 「こどもエコクラブ in おかやま」活動発表会の開催 | 2002年2月 |
| 生活協同組合コープこうべ | 体験型環境学習プログラム「虹っこエコチャレンジ」の提供 | 通年 |
| 国際ソロプチミスト岐阜一長良 | 岐阜市内こどもエコクラブに対する活動支援 (発足式、交流会の支援) | 通年 |

環境カウンセラー情報

●平成13年度環境カウンセラー募集状況と今後の日程

環境カウンセラー登録制度に基づき、平成13年度の環境カウンセラー募集が2001年9月1日～30日に行われました。応募総数は、693名（事業者部門400名・市民部門293名）で、書面審査（第一次審査）は、11月～12月に実施しました。

今後の日程として、面接審査（第二次審査）を2002年1月29日～31日（大阪）、2月11日～15日（東京）にて実施する予定です。面接審査合格者（第二次審査）は、3月末に環境省に環境カウンセラーとして登録され、4月に全国に公表されます。

●平成13年度環境カウンセラー更新状況

平成10年度登録者（事業者部門279名、市民部門178名）の方を対象に、更新手続きを進めています。更新者については、2002年4月中に新たな登録証が送られる予定となっています。

●環境カウンセラー登録者数（平成8～12年度登録）

単位：人

| 登録年度 | 事業者 | 市民 | 合計 |
|--------|------|-----|------|
| 平成8年度 | 649 | 311 | 960 |
| 平成9年度 | 315 | 168 | 483 |
| 平成10年度 | 279 | 178 | 457 |
| 平成11年度 | 154 | 147 | 301 |
| 平成12年度 | 223 | 135 | 358 |
| 合計 | 1620 | 939 | 2559 |

●環境カウンセラー情報

環境カウンセラーに関する情報（登録制度、募集要綱、登録者検索、環境カウンセラーからのお知らせ）をご覧になることができます。

<http://www.eic.or.jp/counselor/index.html>

全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）の活動紹介

●ホームページを大幅改定

2001年11月にはモロッコで気候変動枠組条約の第7回締約国会議（COP7）が開催され、京都議定書の運用ルールの詳細が決まりました。これを受け、先進各国では批准に向けた法整備や制度づくりが進められています。JCCCAでは、こうした動向を背景として、できるだけホームページの幅広い読者のニーズにマッチした、より正確で分かりやすいセグメント情報を提供するため、JCCCAホームページのデザインと内容を大幅に改定しました。また、初めての方や地球温暖化についてあまり良く知らない方などが閲覧しやすいように内容やレベルに応じて情報ページを分類しました。子ども向けには、地球温暖化について学べる絵本「ミドリちゃんの旅」やキッズコーナーを開設しましたのでご活用ください。

●「地球の学校」を開校

JCCCAでは、私たちのライフスタイル改革につながる実践的活動を普及させるため、さまざまな都市において学習会、ワークショップあるいは見学会などを開催しています。今年度のテーマは、自然エネルギー、エコハウス、自転車、買い物ガイドなどを取り上げています。開催日時・場所などの詳細はホームページをご覧ください。

全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

TEL：03-3406-5010

FAX：03-3406-5190

ホームページ：<http://www.jccca.org>

こども環境相談室

「こども環境キャラバン」（概要は4ページを参照）は、11月19～21日の3日間で大阪府八尾市の小学校3校を訪問し、約500人の子ども達と環境保全をとおしてふれ合う場となりました。子ども達は、エコマーク商品を実際に手に取り一つひとつ確かめたり、天然ガス自動車と一般的な自動車の排気ガスを比べることで様々な発見をしました。今回のキャラバン隊は、環境カウンセラーのボランティアによるこども環境相談員を中心に、環境に関する相談やゲームなどを活用したプログラムを多用し、大阪ガス（株）の協力による天然ガス自動車の展示、エコマーク商品の展示を組み合わせることにより、子ども達の「知りたい」という気持ちに応えられる情報提供や、

自ら考える力を育て、子ども達の環境保全への意欲や取り組みの一層の推進を図るものでした。放課後、自らの意志で多くの子ども達が再び展示室を訪れてくれたことは、このキャラバンの成果を裏付けるものでした。エコマーク商品に触れながら遊ぶ子ども達は、次の時代の環境保全リーダーとなることと思います。



6年生達が折ったエコマーク認定折り紙のツルやハスの花など（エコマーク認定ブロックとともに）

全国星空継続観察について

平成13年度夏期の全国星空継続観察が、2001年8月9日～8月22日に実施されました。全国から658団体の参加申込がありました。天候不順などのため観察できない団体があり、526団体から報告をいただきました。延べ参加者数は8,267

人、観察期間内の延べ参加者数は7,351人であり、1団体当たり平均17人でした。観察結果は、環境省のHP*で、2001年12月13日付け報道発表資料としてご覧いただけます。

*URL = <http://www.env.go.jp/press/index.htm>

「こども葉っぱ判定士」認定証の発行と壁新聞優秀作品表彰について

環境省の委託を受けて、小・中学生に地球温暖化防止の啓発を図ることを目的とする「こども葉っぱ判定士」事業を実施しました。

2001年12月25日環境省において環境大臣賞、あわせて日本環境協会理事長賞を授与しました。

1) 「こども葉っぱ判定士」認定証の発行

参加者は、「こども葉っぱ判定士」事業パンフレットの記載手順に従って、学校や庭の樹木の二酸化炭素の吸収量等を調査しました。2001年9月30日までに4,056名の調査報告があり、4,050名に「こども葉っぱ判定士」課程修了の大臣認定証を同年12月25日付けで交付しました。



川口大臣からの表彰の様子

2) 壁新聞優秀作品表彰について

「こども葉っぱ判定士」の調査の内容をさらに発展させた壁新聞を募集しました。優秀作品制作グループに対し、

受賞グループ一覧

| 部門 | 環境大臣賞 | | 日本環境協会理事長賞 | |
|--------------|---------------------|-----------------------|------------------------|--------------------------------|
| | 小学生部門 | 中学生部門 | 小学生部門 | 中学生部門 |
| 学校名 (所在地) | 柏市立中原小学校 (千葉県柏市) | 大東市立住道中学校 (大阪府大東市) | 京都市立北醍醐小学校 (京都府京都市) | 福岡教育大学教育学部附属 小倉中学校(福岡県北九州市) |
| グループ名 | 柏市立中原小学校 エコクラブ | 大東市立住道中学校 科学工作部 | 植物ってワンドラフル グループ | クエストタイム 科学探究グループ |

近刊出版物のご案内 「ごみゼロチャレンジ」マニュアル(仮) 6月発行予定

深刻なごみ問題に直面している今、この課題を解決するため、私たち一人ひとりが循環型社会の形成に向けてごみの減量やリサイクルの推進に取り組んでいく必要があります。

本冊子は、小中学生を主な対象として、廃棄物・リサイクル問題をマンガや図表を使ってわかりやすく解説するとともに、チェックシートを使ったライフスタイルの

自己点検やごみダイエットの方法など、家庭や学校でごみ問題について考えるための方法・ヒントを紹介しており、「総合学習」の教材としてもご利用いただけるような内容となっています。

発行(予定)：2002年6月、A4版30ページ、価格未定

お問い合わせ：虎ノ門本部出版担当 河崎・大岡まで

●当協会の理事長が2001年10月26日付けで、大西孝夫より加藤陸美に変更になりましたのでご連絡いたします。

編集・発行/財団法人日本環境協会 <http://www.jeas.or.jp>

虎ノ門本部 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル7階

(協会) TEL.03-3508-2651 FAX.03-3508-2570

(エコマーク事務局 認証課) TEL.03-3508-2653 FAX.03-3508-2656

(エコマーク事務局 基準課、普及課、GEN総務事務局) TEL.03-3508-2662 FAX.03-3508-2656

(こども環境相談室) TEL.03-3508-2658 FAX.03-3508-2570

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2階

(全国地球温暖化防止活動推進センター) TEL.03-3406-5010 FAX.03-3406-5190

(GPN) TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190

